

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	29県住大宮砂団地建築その他工事	階数	地上5F
建設地	見沼区東大宮3丁目4-1・5-1,-2,-3-	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	144 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年11月 予定	評価の実施日	2019年3月18日
敷地面積	5,298 m ²	作成者	株式会社高岡建築設計事務所
建築面積	683 m ²	確認日	2016年3月18日
延床面積	2,834 m ²	確認者	株式会社高岡建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 4
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3.7

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合 良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また、高い外皮性能を有し、省エネルギー性能に優れ、快適な室内環境を整えるよう考慮した。		その他 建設工事において発生する廃棄物は徹底して分別し、資源のリサイクル化に努めることとした。
Q1 室内環境 できるだけ高い外皮性能を確保できるように、断熱材および開口部の仕様を配慮した。また、建物に使用する建築材料をほぼ全面的にF★★★★とした。	Q2 サービス性能 住宅部分の天井高や階高を適切な寸法とすることで、良好な住宅環境の確保と将来にわたる改修のしやすさに配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内は適切に緑化を施し、地表面温度の上昇を極力抑える計画とした。
LR1 エネルギー 各設備機器毎に取扱説明書を手渡し、使用機器の理解度の向上を図ることとした。	LR2 資源・マテリアル 「FODP値=0」の断熱材の使用により、地球温暖化対策に配慮した。	LR3 敷地外環境 建物の断熱性能の向上や、省エネルギー性能の高い設備機器を採用することで、CO ₂ 排出量の削減に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEEさいたま2016年版
29県住大宮砂団地建築その他工事

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版
 ■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質							2.7
Q1 室内環境			0.40		-		3.3
1 音環境		-	0.15	2.8	1.00		2.8
1.1 室内騒音レベル		-	-	3.0	0.50		
1.2 遮音		-	-	2.6	0.50		
1 開口部遮音性能		-	-	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音		-	-	-	-		
2 温熱環境		-	0.35	3.0	1.00		3.0
2.1 室温制御		-	-	3.0	1.00		
1 室温		-	-	-	-		
2 外皮性能		-	-	3.0	1.00		
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-		
2.2 湿度制御		-	-	-	-		
2.3 空調方式		-	-	-	-		
3 光・視環境		-	0.25	3.7	1.00		3.7
3.1 昼光利用		-	-	3.5	0.50		
1 昼光率	住戸部:昼光率1.7%	-	-	4.0	0.50		
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備		-	-	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		-	-	4.0	0.50		
1 昼光制御	住戸部:庇(バルコニー)、カーテンレールを設置	-	-	4.0	1.00		
3.3 照度		-	-	-	-		
3.4 照明制御		-	-	-	-		
4 空気質環境		-	0.25	3.6	1.00		3.6
4.1 発生源対策		-	-	4.0	0.63		
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建材をほぼ全面に採用	-	-	4.0	1.00		
4.2 換気		-	-	3.0	0.38		
1 換気量		-	-	3.0	0.33		
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	0.33		
4.3 運用管理		-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-		
2 喫煙の制御		-	-	-	-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		2.8
1 機能性		2.5	0.40	2.6	1.00		2.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性		-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-		
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保	①階段下倉庫あり ②ゴミ置場横に水栓あり ③ゴミ置場の床は排水勾配あり ④ゴミ置場あり ⑤ゴミ置場横に水栓あり ⑥MBからバルブ等の日常的な調整が可能 ⑦共用部の設備は共用部から維持管理可能	4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-		3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数	設計住宅性能表示3劣化の軽減等級3を満たす	5.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	床 CFシート:20年 壁 ビニルクロス貼:20年 天井 ビニルクロス貼:30年	2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		4.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管 PE:B(40年) 排水管(屋内) VP:B(40年) 通気管 耐火二層管(VP同等以上):A(60年)	5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-		

	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり					2.6	0.50	
1	階高のゆとり		-	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.0
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.82	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		泡沫水栓、節水型便器	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		スタイロフォーム断熱材(壁、屋根など)	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		乾式二重床、木下地よりRC躯体と容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP値=0、GWP値=3	4.0	1.00	-	-	
3	冷媒		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮		LCCO2を基準値から32%削減	4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		1)①アメダスデータより風向、風速、卓越風などの風完了を把握。 2)②見付面積比 31.60% ③隣棟間隔指標Rw 1.60 3)①地表面対策面積率 68.91% 5)①LR1エネルギーのスコア 4.0 5)②建築設備に伴う発熱 住宅用途	4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	雨水浸透トレンチ、アスファルト舗装	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	I 1)駐輪スペース 1.5台/戸を確保 II 1)駐車スペース 33台分(車イス対応2台含む) II 2)デイスビス対応用駐車スペースあり II 3)車路の出入口、幅を適切に計画した	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策チェックリストの過半を満たす、広告物照明の非設置	5.0	0.70	-	-	

	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	
--	---	------------------------	-----	------	---	---	--